

トピックス

## 平成28年秋の叙勲 ～勝村宗英氏が瑞宝小綬章を受章されました～



受章式にて

平成28年秋の叙勲受章者が発表され、産総研四国センターOBの勝村宗英氏が瑞宝小綬章を受章されました。

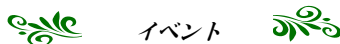
勝村氏は、昭和48年1月に産総研四国センターの前身である通商産業省四国工業技術試験所に入所されました。主に溶接や表面処理技術に関する研究に従事され、国の大型プロジェクトなどにおいて多大な成果を挙げられ、研究分野の発展に尽くされるとともに、幅広い分野での研究指導・管理を通して後進の育成に尽力されました。また独法化に当たっては、現在の産総研の基本設計に尽力されました。

平成13年4月には産総研四国センターの所長代理に就任され、研究所の運営と後進の育成に尽力されると同時に、研究コーディネータとして研究者と産業界を結びつけ、併任する四国経済産業局産業部技術政策企画官としては国の施策と研究現場をつなぐ役割を果たし続けられました。また、徳島大学、香川大学、高松工業高等専門学校等の客員教授、講師として、若手人材の育成にも多大な貢献をされました。

平成17年3月には産業技術総合研究所を退職され、公益財団法人かがわ産業支援財団、独立行政法人中小企業基盤整備機構、一般財団法人四国産業・技術振興センター、独立行政法人国立高等専門学校機構等で各種プロジェクトを推進しつつ、非常勤コーディネータとして、引き続き産業技術総合研究所の成果普及に尽力されました。平成26年4月には永年にわたる研究、そして産学官連携による産業振興への尽力に対し、四国経済産業局局長から感謝状が贈られています。



祝賀会にて



イベント

## 医療機器ガイドライン活用セミナー

【日 時】 平成28年12月16日（金）13:00～17:00（受付：12:30～）

【会 場】 AP東京八重洲通り 13階（〒104-0031 東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル）

【参加費】 無料

【お申込】 オンライン登録（下記URLより）

[http://md-guidelines.pj.aist.go.jp/?page\\_id=35751](http://md-guidelines.pj.aist.go.jp/?page_id=35751)

<前ページから>

## 【プログラム概要】

挨拶 日本医療研究開発機構 阪本 剛 氏

「経済産業省の医療機器産業政策と開発ガイドライン策定事業について」 経済産業省 小宮 一晃 氏

「整形インプラントの開発への臨床的視点からの期待」 日本人工関節研究所 勝呂 徹 氏

「整形インプラント開発ガイドラインの活用ポイントの解説」 産総研 岡崎 義光

「総合討論およびアンケート」 司会：産総研 岡崎 義光

「積層造形技術等を用いた歯科補綴装置開発への臨床的な立場からの期待」 鶴見大学歯学部 大久保 力廣 氏

【問い合わせ先】 〒305-8564 茨城県つくば市並木1-2-1

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 健康工学研究部門内

医療機器開発ガイドライン事業実務委員会事務局

TEL：029-861-7840 E-mail：md-guidelines@aist.go.jp

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

医療機器ガイドライン #13

検索

CLICK!!

<http://md-guidelines.pj.aist.go.jp/?p=36141>



トピックス



## 産総研の最近の主な研究成果

(平成28年11月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2016/11/01>

**魚油による脂質代謝改善効果が摂取時刻によって異なることをマウスで発見**  
—DHAやEPAの摂取は朝が効果的—

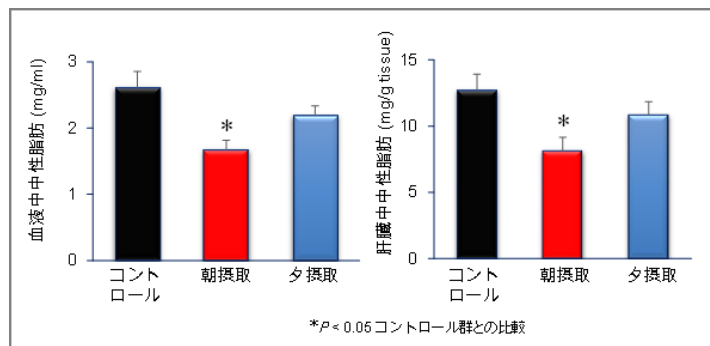
### 【ポイント】

- ・ 魚油の摂取による脂質代謝の改善効果が、摂取する時刻によって異なることを、マウス実験で発見
- ・ 朝食時の魚油の摂取は、血中のDHA・EPA濃度を高める
- ・ 時間栄養学の予防医学分野への貢献に期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2016/pr20161101/pr20161101.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20161101/pr20161101.html)

(バイオメディカル研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2016/11/07>

## スーパーエンジニアリングプラスチック「PEEK/SGCNT複合材料」を開発 —単層CNT添加で世界最高水準の耐熱性と機械強度を達成—

### 【ポイント】

- ・世界最高水準の耐熱性（450℃）と機械強度（曲げ強度1.8倍）を同時に達成
- ・射出成形可能な新しいスーパーエンジニアリングプラスチックを開発
- ・軽金属材料などに代わる新たな材料として期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2016/pr20161107\\_2/pr20161107\\_2.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20161107_2/pr20161107_2.html)

(ナノチューブ実用化研究センター)



<発表・掲載日：2016/11/09>

## 水素の大量製造を可能にする酸化物ナノ複合化陽極材料を開発 —革新的な固体酸化物形電解技術による水素社会への貢献—

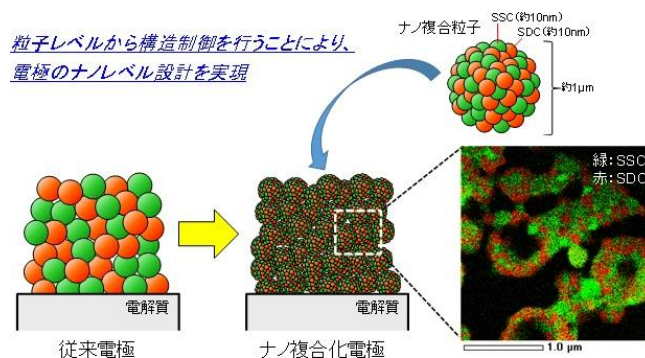
### 【ポイント】

- ・二種類の10 nmレベルの酸化物ナノ微粒子を均質に複合化した二次粒子からなる陽極材料を開発
- ・二次粒子内にイオンの伝導経路を構築し、電極反応点数を飛躍的に増加
- ・既存の水の電気分解技術を超える電解電流密度を酸化物形で実証し、水素社会の実現を促進

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2016/pr20161109/pr20161109.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20161109/pr20161109.html)

(無機機能材料研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2016/11/14>

## 鬼怒川大水害による洪水堆積物の特徴を緊急調査により解明

—地層から過去の洪水履歴を読み解くための鍵—

### 【ポイント】

- ・現代の洪水で起きた地質現象を解明した、世界的にも類例の少ない研究
- ・氾濫の過程と、洪水堆積物・浸食痕の広がりとの関係が明らかに
- ・将来的な教訓として防災意識の向上に貢献

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/new\\_research/2016/nr20161114/nr20161114.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2016/nr20161114/nr20161114.html)

(活断層・火山研究部門)



<発表・掲載日：2016/11/18>

## 銀-リン酸カルシウム複合粒子の合成技術を開発

—レーザー光照射により抗菌性粒子を簡便に合成—

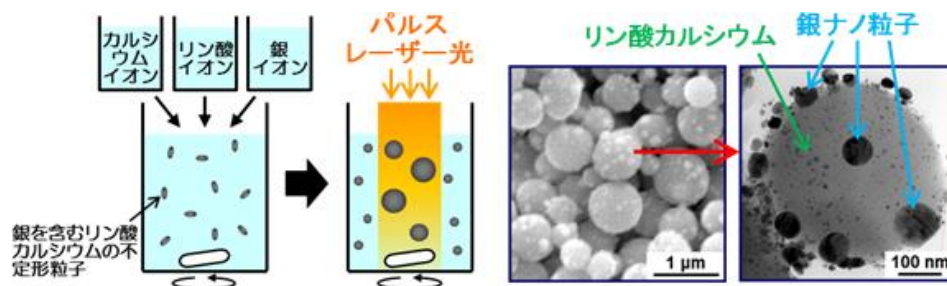
### 【ポイント】

- ・無機イオンの混合水溶液にレーザー光を照射するだけの簡便・迅速な合成技術
- ・多数の抗菌性銀ナノ粒子をリン酸カルシウムサブマイクロメートル粒子に内包
- ・医療、環境、分析などさまざまな分野での応用展開に期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/new\\_research/2016/nr20161118/nr20161118.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2016/nr20161118/nr20161118.html)

(ナノ材料研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2016/11/30>

## 高記録容量光ディスクを目指した高速光記録材料を開発 —長期間の保存記録向け光ディスク材料—

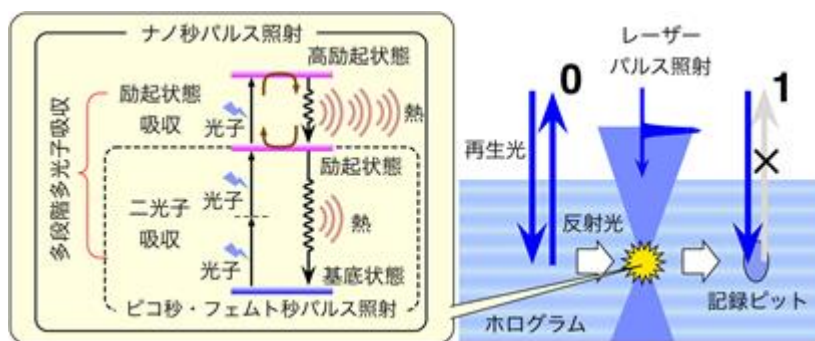
### 【ポイント】

- ・多段階多光子吸収とホログラム技術により高速な光記録を実現
- ・多層化に向き、ディスク1枚で10テラバイトになる400層の記録層も可能
- ・長期保存記録に用いることで消費電力や二酸化炭素排出量削減に期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/new\\_research/2016/nr20161130/nr20161130.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2016/nr20161130/nr20161130.html)

(無機機能材料研究部門)



その他



## 編集後記

2016年も残すところあとわずかとなりました。  
本年は格別のご愛顧を賜り、  
誠に有難く厚く御礼申し上げます。  
なお、弊所の年末年始の休業期間は下記の通りです。

〔年末年始休業期間〕 12月29日（木）～1月3日（火）

新年は1月4日（水）より業務開始となります。

来年も幸多き一年になりますよう、お祈りいたしております。